

### 子育て情報 パーソナルポータル

(母子手帳・予防接種・健診・子育てカレンダーなど)



### 子育て 施設予約

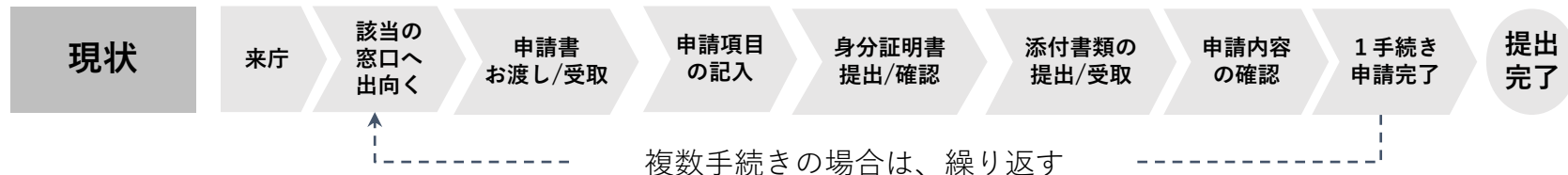
実施日\時間帯	09-10	11-12	14-15
2019年12月9日	-	-	-
2019年12月10日	📅	📅	📅
2019年12月11日	📅	📅	📅
2019年12月12日	📅	📅	📅
2019年12月13日	📅	📅	📅
2019年12月16日	📅	📅	📅
2019年12月17日	📅	📅	📅
2019年12月18日	📅	📅	📅
2019年12月19日	📅	📅	📅

### 子育て 施設利用申請

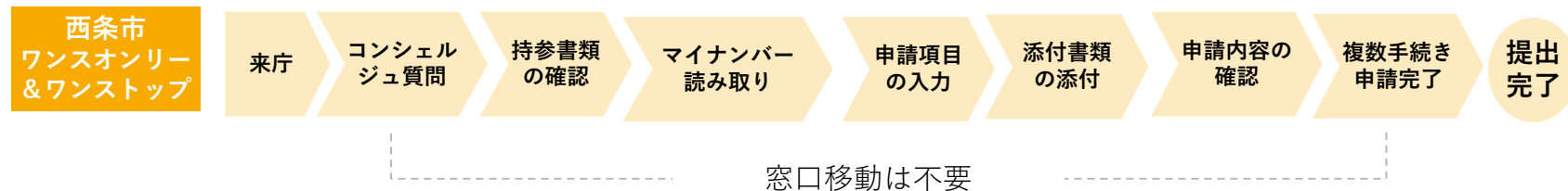


市民サービス提供からはじまり、施設の業務軽減へと追加拡充

# 出生届ワンスオンリー&ワンストップの概要



## 複数の窓口それぞれ出向き、書類を複数枚記入する



## 窓口は1か所、情報入力/提出は1回

出生届

児童手当認定請求 (+口座振込依頼書)

こども医療費受給資格認定申請

国民健康保険出産育児一時金支給申請

出産・子育て応援給付金

# 窓口ナビの画面フロー

タブレット起動

コンシェルジュ質問

持参書類の確認～手続き開始



コンシェルジュの質問の回答結果を、申請フォームの入力内容としてプリセットすることで、市民の入力の手間を削減する

コンシェルジュが、市民が持参した書類を確認し、持参書類が揃っている申請内容に☑をして次へ進む。

# 窓口ナビの画面フロー

## マイナンバーカードの読取

## 申請情報の入力

## 入力内容の確認



スマホでマイナンバーカードの読み取りが終わったら、自動的に申請フォームへ遷移する

コンシェルジュが、窓口DX専用のスマホアプリで、タブレットに表示されたペアリング用のQRコードを読込の後、市民にスマホを渡してパスワードを入力してもらおうと、マイナンバーの読取が完了する。

## 必要書類の確認

## 市民が持参した書類の撮影(添付)～確認



必要な分だけ繰り返す

# 窓口ナビの画面フロー

申請内容の最終確認

自署

完了

入力内容を印刷する



タブレットでの印刷ボタン押下で  
ダイレクト印刷を可能に。  
市民が入力した内容 & 自署情報が  
申請帳票にオーバーレイされ  
出力されます

## 課題

出生届をオンライン化するときに、出生届と出生証明書が一枚型になっているので、添付資料として別途提出が必要になる。

## 対応

写真データとして提出。原本は別途提出。

# 今後のステップ

Step 1

(まずはマイナンバー連携で)  
庁舎における申請窓口のDX

7月リリースに  
向けて開発中

Step 2

(公的個人認証の提供をすれば)  
庁舎に訪問不要。どこからでも申請可能に

Step 3

行政から、必要な申請を  
プッシュ型でアプローチできる環境へ

1回の申請で複数手続きを可能に  
窓口は1か所



ワンストップ  
&  
ワンストップ



自宅や外出先でいつでも申請可能に。  
提出書類も写真を撮って添付するだけ



申請タイミングや申請期限を  
市民が自ら探さずとも  
行政からアプローチ



行政手続きのデジタル化（ワンストップ化）を推進することで、

市民の負担軽減 及び 利便性の向上を目指すと共に  
必要な申請に対して、行政が先導してアプローチ可能な伴走型支援を可能にする。





妊娠届や出生届のデジタル化をキーとし、ライフイベントに合わせた手続きは自動で出来るようになる

さらに

妊婦期や乳幼児健診などの保健領域のデータがデジタル化されると

「妊娠」や「出生」というライフイベントを起点とした**一体的な支援**に加えて  
 市民に対し適切なフェーズできめ細かな**フォローアップ**を行う環境を構築することで  
 だれひとり取り残されない+切れ目ない支援の実現を目指す。